



大一小だより

令和4年11月30日
12月号 練馬区立大泉第一小学校
校長 森田 和久

<https://www.nerima-tky.ed.jp/ooizumi1-e/>

2学期も「かつやく」した大泉第一小学校 校長 森田 和久

9月、まだ猛暑が続いていた中でスタートした2学期も、あとわずかとなりました。あっという間に、2学期が終わろうとしています。

その中で、子どもたちは、たくさん「か（考える）つ（つよい）や（やさしい）く（くじけない）」することができました。

「か（考える）」

学習に意欲的に取り組む姿が毎日見られました。その時間で学習するめあてに向かって、一生懸命学習することができました。



「つ（つよい）」

体育朝会で短縄跳びに挑戦しました。休み時間も自主的に取り組む子供たちの姿が見られました。全校児童のほとんどが参加して、楽しい休み時間を過ごしました。また、朝遊びも、みんな元気よく遊びました。遊びの中から、健康な体をつくる基礎ができました。11月までの1日平均欠席者数は、約4人です。子供たちは元気に登校することができました。

「や（やさしい）」

ハッピー班（縦割り班）で毎日清掃活動に取り組みました。上級生は下級生のお世話をしながら、下級生は、上級生と一緒に毎日過ごしました。互いに助け合う心・相手を思いやる心等に気づき、心が豊かになりました。



「く（くじけない）」

毎日の生活で、最後までやり抜く姿が、たくさん見られました。学年に応じてあきらめずに、取り組むことができました。また、12月9日10日に行われる「スクールフェスティバル（学習発表会）」（詳細は裏面と別紙参照）に向けて、頑張っ取り組む姿が見られます。以上のように、2学期もたくさんの「かつやく」する姿を大泉第一小学校で見ることができました。

【学校評価保護者アンケート】2学期のアンケートにご協力いただきありがとうございました。1学期同様に集計して、1月にご報告いたします。

12月行事予定

日	曜日	行事予定
1	木	<開校記念日>
2	金	クリーン運動終 安全指導
3	土	
4	日	
5	月	
6	火	
7	水	
8	木	
9	金	スクールフェスティバル（児童鑑賞日）
10	土	スクールフェスティバル（保護者鑑賞日） 片付け（6年）
11	日	
12	月	4時間授業（1・2年） 5時間授業（3～6年）
13	火	
14	水	
15	木	5時間授業
16	金	
17	土	
18	日	
19	月	クラブ活動⑨
20	火	社会科見学（3年）
21	水	
22	木	給食終
23	金	終業式 B時程4時間授業
24	土	
25	日	
26	月	冬季休業日始
27	火	避難訓練は予告なしで行います。
28	水	
29	木	
30	金	
31	土	

◆ホームページアドレスの変更（12月上旬より）

下記のアドレスに変更となります。

<https://www.nerima-tky.ed.jp/ooizumi1-e/>

12月の学校公開日に、スクールフェスティバルを行います。大一小では初めての取り組みとなる学習発表会ですが、子供たちはやる気に満ち溢れ、友達と誘い合って、休み時間にも練習に励む姿が見られるようになってきました。廊下で、自然とセリフや歌を口ずさむ子供もおり、楽しみにしている様子が伺えます。

さて、学習発表会とは何か。その名の通り、子供たちが、日常の学習の成果を総合的に発表することによって、生活を豊かにし、自主的、創造的な活動の向上を図るところにそのねらいがあります。子供一人一人が、その能力を発揮して、仲間と協力して一つの作品を創り上げる中で、壁にぶつかることもあるでしょう。その壁を自分たちの力で、時には大人の力を借りて乗り越えられたときに、また一つ成長することができると思います。また、伝える喜びを実感するとともに、感動を共有することで、一人では味わえない特別な感情を実感として体験することになるでしょう。行事には、教科等の学習活動だけでは得られない特別な学びがあります。

感染症などが心配される時期となりました。健康管理や励ましなど、ご協力をお願いすると共に、子供たちの「かつやく」を楽しみにしていただければと思います。

1年生の取り組み

1年1組

- ・1年1組担任 砂塚優子主任教諭が9月より長期の病気休暇となりました。12月1日より、大谷賢子教諭が担任となります。大谷教諭は育児休業から復帰する正規教員です。鈴木花音 代替教員は退職となります。
- ・1年1組は今、時間を意識しながら行動することを頑張っています。朝のうちにその日の時間割を確認して、どの時間に何をしたらいいかを、全体で考えるようにしています。最近では、児童の方から「今のうちに着替えてもいいですか?」と、聞かれることも増えてきました。見通しをもって生活していこうとしている姿に、成長を感じます。
- また、新しい漢字を習うたび、その漢字を使った熟語を教えてください。授業では習っていない読み方の熟語を知っている児童も多く、家庭学習や読書の習慣が身に付いている成果であると感じています。

校内研究は、学校において、児童の教育のために、教職員が共同で行う研究です。教職員が互いに切磋琢磨し学び合うことで、教員一人一人の指導力が向上し、それが子供たちの生きる力の育成へとつながっていきます。

今年度の校内研究では、すべての学年で研究授業を行います。全員でそれを参観し、学外からも講師をお招きするなどして、研究協議会を実施しています。

10月には、4年1組の水野主任教諭による体育科の研究授業が行われました。現在の体育科では、単に「運動ができる・できない」だけを追い求めることはしません。児童が「やってみよう!」と思えるような場を教師が設定し、その動きができるようになるためには、体をどのように動かせばよいのか、どんな点に気を付ければよいのかなどを子供が友達と協力しながら考えていきます。研究授業の中でも、友達のよい動きに拍手を送ったり、アドバイスを伝え合ったりする活動的な子供の様子がたくさん見られました。

教員が、授業を参観して学んだことを、自身の授業で実践したり、その教科以外でも活かせることは何かを考えたりすることが授業改善につながっていきます。子供たちの学びを大切にしながら、今後も更なる自己研鑽に皆で励んで参ります。

◆短縄旬間(11月14~25日)

休み時間を利用して、縄跳びカードやリズム縄跳びに取り組みました。今年は縄跳びペアカードを配布し、友達と取り組めるようにしました。寒くなってきても元気に活動してほしいと思います。

